

令和2年度 中小企業振興施策の実施状況

資料3-2

市の施策	第2次中小企業振興のためのアクションプラン
期 間	平成31・令和元(2019)年度から令和5(2023)年度までの5年間

三木市中小企業振興条例第4条に規定する施策						
(1) 経営の革新及び経営基盤の強化並びに創業を促進するための施策						
	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備 考
ア	経営革新支援事業	中小企業の経営革新、経営基盤の強化、創業等を総合的に支援するため、地域支援拠点として、中小企業サポートセンターを運営して、商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、中小企業診断士(認定経営革新等支援機関)による窓口相談、企業訪問等を行います。	窓口相談 790件 企業訪問 862件 計1,652件	相談件数(窓口相談・企業訪問) 1,650件	窓口相談 1367件 R3.1月末 企業訪問 305件 計1,672件(うち新型コロナ相談 620件)	実施主体: 中小企業サポートセンター R2年3月から新型コロナ対策相談窓口を開設
			経営革新計画(県)の承認 8件 経営力向上計画(国)の認定 7件 計15件	経営革新計画(県)の承認・経営力向上計画(国)の認定件数 10件	経営革新計画(県)の承認 1件 R3.1月末 経営力向上計画(国)の認定 11件 計12件 【追加】事業継続力強化計画(BCP)(国)の認定 6件	H30年6月末～ 経営力向上計画(国)の認定による固定資産税の優遇措置が先端設備等導入計画(市)の認定に変わっている。 実施主体: 中小企業サポートセンター(申請支援)
			補助金(国・県・その他)採択 15件	補助金(国・県・その他)採択件数 15件	補助金(国・県・その他)採択 37件 R3.1月末 国:ものづくり3・小規模事業者持続化21・文化芸術1・燃料供給1、持続化給付2、家賃給付2 県:がんばる小規模事業者3、がんばるお店1、事業継続(事業承継)1、デジタル活用2	実施主体: 中小企業サポートセンター(申請支援)
			融資(国・県・民間)実行 14件	融資(国・県・民間)実行件数 15件	融資(国・県・民間)実行 20件 R3.1月末 (うち新型コロナ対策20件) 国:コロナ融資(日本政策金融公庫)11 民間金融機関:コロナ融資(プロパー)9	実施主体: 中小企業サポートセンター(計画支援)
			セミナー・説明会等開催 2回	セミナー・説明会等開催回数 2回	セミナー・説明会等開催回数 0回 ※コロナ禍により、説明会、勉強会等の企画を断念	例年、国の補助金説明会、勉強会等を開催 実施主体: 中小企業サポートセンター(申請支援)
イ	設備投資促進事業	経営革新(イノベーション)を推進するため、設備・IT等を整備する中小企業を支援するとともに、中小企業サポートセンターと商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、先端設備等を導入し、生産性の向上を図る中小企業を支援します。	中小企業者等設備投資促進事業補助金 37件	中小企業経営革新設備投資促進事業補助件数 25件	中小企業経営革新新設備投資促進事業補助金 24件交付見込み 補助金総額 39,987千円交付見込み 応募者数 28件	H30年度 経営革新を行っている中小企業の補助率引き上げによる優遇措置
			—	先端設備等導入計画の認定件数 20件	先端設備等導入計画の認定 18件 R3.1月末 導入計画総額 1,169,719千円	生産性向上特措法に基づく先端設備等導入計画(市)の制度開始 H30年6月末～3年間(R3～2年間延長予定)
ウ	事業承継支援事業	経営者の高齢化に伴う廃業を防止するため、中小企業サポートセンターと商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、中小企業の円滑な事業承継を支援します。	—	事業承継計画の策定・特例承継計画(県)の確認件数 3件	特例承継計画(県)の確認 0件 R3.1月末 【追加】特例贈与(県)の認定 0件	特例承継計画(県)の制度開始 H30年4月～5年間 実施主体: 中小企業サポートセンター(申請支援)
エ	連携支援事業	中小企業と中小企業、大企業、同業種、異業種、大学等とが連携し、新製品(最終製品等)・新技術の開発、販路開拓、成長産業分野への参入、人材育成、共同化等の取組を行う市内の複数の中小企業が主体となるグループを支援します。	—	(仮)中小企業連携支援事業補助件数 1件	—	R4年度予定～ 新規事業として事務局検討
オ	起業家支援事業	市内の多様な世代の創業を実現するため、中小企業サポートセンターと商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、創業セミナー等の支援をするとともに、起業しやすい環境の整備を支援します。	創業セミナーの開催 5回	創業セミナーの開催回数 5回	創業セミナーの開催回数 5回 参加者数 14人(延べ59人) ※定員15制限等の新型コロナ対策を講じて開催	実施主体: 中小企業サポートセンター
			起業家支援事業補助金 3件	起業家支援事業 補助件数 4件	起業家支援事業補助金 4件交付見込み R3.1月末現在 補助金総額 2,000千円交付見込み 応募者数 9件	R2年度～ 空き家改修費を別枠で加算

			起業家支援利息補給制度 申込 8件	起業家支援利息補給制度 申込件数 8件	起業家支援利息補給制度 申込 1件 R3.1月末現在 全体の補給対象者 29件見込み	
			創業実現者 15人	創業実現者数 15人	創業実現者数 8人 (男2人 女6人) R2.11月現在	実施主体: 中小企業サポートセンター
(2) 新たな産業を創出するための施策						
	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備 考
ア	新産業創出事業	観光の振興と地域の活性化を図るため、観光協会、商工会議所、商工会等との連携を強化しながら、三木の歴史・文化・先人・地域産品(山田錦)等の地域資源を活用した新たな観光特産品を開発する事業者を支援します。	観光特産品開発 補助金 0件	観光特産品開発 補助件数 1件	観光特産品開発促進 補助金 1件 補助金額 500千円	
(3) 技術力、経営力の高度化を促進するための施策						
	事業名称	事業概要	29年度実績	年度目標	実施状況	備 考
ア	技術支援事業	新製品や新技術の開発を促進するため、特許権、実用新案権、意匠権の取得を行おうとする中小企業を支援します。	中小企業特許権等取得 助成金 11件	中小企業特許権等取得 助成件数 10件	中小企業特許権等取得 R3.1月末 助成金 2件(2社) 内訳:実用新案権1(1社)・意匠権1(1社) 助成金総額 132千円	
(4) 市内経済の循環を促進するための施策						
	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備 考
ア	商店街支援事業	商店街の活性化を図るため、商店街連合会、商工会議所との連携を強化しながら、空き店舗を活用した新規出店、にぎわいづくり、販売促進、先進地視察等を支援します。	商店街パワーアップ事業 チャレンジショップ 3件	商店街パワーアップ事業 チャレンジショップ件数 3件	商店街パワーアップ事業 チャレンジショップ 0件 補助金額 200千円見込み	実施主体: 商店街パワーアップ事業推進委員会(三木商工会議所・三木市商店街連合会・三木市)
			商店街パワーアップ事業 にぎわい広場 2件	商店街パワーアップ事業 にぎわい広場件数 2件	商店街パワーアップ事業 市内既存店魅力向上支援 0件 【再掲】補助金額 200千円見込み	実施主体: 商店街パワーアップ事業推進委員会(三木商工会議所・三木市商店街連合会・三木市) ※にぎわい広場R1まで(廃止)、R2～市内既存店魅力向上支援
			商店街販売促進事業 歳末感謝セール 1回	商店街販売促進事業 歳末感謝セール回数 1回	商店街販売促進事業 歳末感謝セール 1回 補助金額 450千円(実施主体へ補助)	三木地区・自由が丘地区・緑が丘地区の商店街等 実施主体: 三木市商店街連合会
			夢ステーション 利用者 45,284人	夢ステーション 利用者数 46,000人	夢ステーション 利用者 29,859人 R3.1月末	旧三木鉄道跡に食料品販売店(飲食喫茶併設)を設置 運営主体: 三木市商店街連合会
			商業振興事業視察研修 2回	商業振興事業視察研修回数 2回	商業振興事業視察研修 繁盛店見学会 0回 先進地商店街等視察研修会0回 ※コロナ禍で中止	繁盛店の実施主体: 三木商工会議所 先進地商店街の実施主体: 三木市商店街連合会

イ	【新型コロナ対策】 緊急経済対策事業 消費喚起型	新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けている市内の中小店舗等の業績回復を支援するため、消費喚起と地域経済の活性化を促進します。	—	—	【新型コロナ対策】 R2.12月末現在 みつきいとくとく・マイナポイント事業(みきマイナ) 市内中小店舗数(参加) 532件 決済サービス事業者 PayPay、楽天Edy	国のマイナポイント事業への市独自ポイントの上乗せ 国のプレミアム率:25% 5,000円上限 市のプレミアム率:25% 5,000円上限 利用期間:令和2年9月1日～令和3年3月末
			—	—	【新型コロナ対策】 商店街お買い物券・ポイントシール事業(事業終了) 【県・市協調事業】(県2/3 市1/3等) 市内店舗数(参加) 227件	実施主体:三木市商店街連合会 プレミアム率:20%(1万円で1万2千円) 利用期間:令和2年11月1日～令和2年12月末
			—	—	【新型コロナ対策】 特産品購入促進事業(事業終了) 【県・市協調事業】(県2/3 市1/3等) 対象施設 道の駅みき、山田錦の館	おみやげ購入券の発行 実施主体:みきやま榊(道の駅みき)、吉川まちづくり公社(山田錦の館) プレミアム率:20%(1000円購入ごとに200円の「おみやげ購入券」を発行)
			—	—	【新型コロナ対策】 GOTOイート登録支援事業(事業終了) 給付件数 113件 給付金総額 5,650千円	国のGOTOイート事業の登録飲食店を支援 対象:市内中小飲食店 給付金額:1店舗当たり5万円 申請期間:令和2年11月上旬～令和3年1月末
			—	—	【新型コロナ対策】 R3.2月現在 テイクアウト支援事業	対象:市内中小飲食店が店内飲食に加えてテイクアウトサービスをする場合 給付金額:1店舗当たり10万円 申請期間:令和3年2月1日～令和3年3月1日
			—	—	【新型コロナ対策】 R3.2月現在 テイクアウト応援チケット事業 市内中小飲食店数(テイクアウト支援事業参加)	全市民に市内飲食店においてテイクアウト商品の購入に使用できるチケットを配布 チケット金額:1人当たり2,000円 チケット配布:令和3年3月末予定 使用期限:令和3年5月末予定

(5) 社会経済情勢の変化への適応を円滑化するための施策

	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備 考
ア	金融対策事業	セーフティネット機能を維持するため、中小企業に対して、低金利の事業資金の融資斡旋等を行うとともに業況の悪化している業種等で経営の安定に支障が生じていると認められる中小企業を支援します。	中小企業振興資金融資斡旋制度 融資実行 小規模53件 一般10件 計63件	中小企業振興資金融資斡旋制度 融資実行件数 15件	中小企業振興資金融資斡旋制度 R2.12月末 融資実行 小規模1件 一般1件 計 2件 融資実行総額 22,500千円 保証料補給 3件 保証料補給総額 614千円 小規模利息補給 194件(上期194件 下期未) 小規模利息補給総額 3,762千円(上期3,762千円 下期未) 融資残高件数 239件 融資残高総額 745,352千円	小規模事業者無担保無保証人資金については、H30～利息補給100%→20%、信用保証料補給100%→50%に引き下げた(元に戻した)ため、利用件数は減少
			中小企業信用保険法に基づくセーフティネット5号の認定 24件	中小企業信用保険法に基づくセーフティネット5号の認定 15件	【新型コロナ対策】 R3.1月末現在 中小企業信用保険法に基づく認定 セーフティネット4号の認定 333件 (うち新型コロナ対策 333件) セーフティネット5号の認定 85件 (うち新型コロナ対策 85件) 危機関連保証の認定 526件 (うち新型コロナ対策 526件) 計 944件(うち新型コロナ対策 944件) 小規模事業者持続化補助金の新型コロナの影響による売上減少証明書 26件	コロナ禍で景気動向が後退し、R2年3月に新型コロナ対策(新型コロナ感染症の影響による売上減少)の認定制度が開始したことから、利用件数が増加 【新型コロナ対策】 4号:20%売上減少 5号:5%売上減少 危機関連保証:15%売上減少

イ	【新型コロナ対策】 緊急経済対策事業 セーフティネット型	市・中小企業サポートセンターと商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けている市内の中小企業・小規模事業者の事業の継続を支援します。	—	—	【新型コロナ対策】 R3.1月末現在 金融・経営相談 市商工振興課 1989件 中小企業サポートセンター 620件【再掲】 三木商工会議所 1,054件 吉川町商工会 322件 計3,985件	R2年3月から市商工振興課、中小企業サポートセンター、三木商工会議所、吉川町商工会に新型コロナ対策相談窓口を開設
			—	—	【新型コロナ対策】 中小企業事業継続支援給付金(事業終了) 給付金件数 867件 給付金総額 223,825千円	給付金額:新型コロナ対策融資額の5%相当(上限30万円) 令和2年5月連休明け～令和2年10月末
			—	—	【新型コロナ対策】 中小企業等家賃支援給付金(事業終了) 給付金件数 367件 給付金総額 84,177千円	実施主体:三木商工会議所(委託事業者) 給付金額:3か月分の賃借料相当額(1か月分あたり上限10万円、3か月分合計上限30万円) 申請期間:令和2年8月下旬～和2年10月末
			—	—	【新型コロナ対策】 休業要請事業者経営継続支援金【県・市協調】(事業終了) 支給件数 261件 支給総額 106,150千円(県2/3 市1/3) うち市負担額 35,384千円(1/3)	実施主体:兵庫県(委託事業者) 支援金額:中小法人最大100万円、個人事業主最大50万円 対象期間:令和2年4月15日～令和2年5月6日(緊急事態宣言) 申請期間:令和2年4月下旬～令和2年6月末
			—	—	【新型コロナ対策】 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業【県・市協調】(国80% 県・市20%→県20%×2/3 市20%×1/3)	実施主体:兵庫県(委託事業者) 協力金額:①6万円/日 最大150万円②6万円/日 最大168万円 対象期間:①令和3年1月14日～2月7日(25日)②①令和3年2月8日～3月7日(28日)(緊急事態宣言) 申請期間:①令和3年2月8日～令和3年3月1日②令和3年3月8日以降予定

(6) 情報収集及び発信を促進するための施策

	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備 考
ア	海外展開支援事業	三木金物の海外市場での販路開拓を強化するため、商工会議所と連携しながら、ドイツ国際見本市への出展等を支援するとともに、金物商工協同組合連合会と連携しながら、「みきかなもんプロジェクト」を推進し、新製品開発、市場調査、展示会への出展等の三木金物ブランドの海外展開を支援します。	ドイツ国際見本市 海外進出 1回(2年に1回) ケルン国際ハードウェアメッセ みきかなもんプロジェクト 海外進出 1回 台湾五金展	海外進出回数 1回	みきかなもんプロジェクト 海外進出 0回 ※コロナ禍で中止	ドイツ国際見本市の実施主体:三木商工会議所 みきかなもんプロジェクトの実施主体:三木金物商工協同組合連合会 みきかなもんプロジェクトは、令和2年度末で終了する。(H28～R2 5カ年)そのため、R3～新たに「三木金物ブランド戦略事業」を検討中
イ	情報発信促進事業	地域産業のPRと販路拡大を図るため、金物商工協同組合連合会、工業協同組合、金物卸商協同組合、商工会議所等と連携し、金物まつり等の産業見本市の開催、見本市の出展、金物展示館の出展、金物大学、三木金物ニューハードウェア賞の認定中小企業、金物鷺等を支援します。	見本市・展示会等開催 3回 金物まつり 金物フェア(金物まつりと同時) 鍛冶でっせ	見本市・展示会等開催回数 3回	見本市・展示会等開催 0回 ※コロナ禍で中止 金物まつり 0回 金物フェア(金物まつりと同時) 0回 鍛冶でっせ 0回	金物まつりの実施主体:三木金物まつり実行員会(三木市・三木商工会議所等) 金物フェアの実施主体:金物フェア委員会(三木商工会議所・三木市) 鍛冶でっせの実施主体:三木金物商工協同組合連合会(鍛冶でっせ実行委員会)

			見本市への出展補助 3件 DIYショー(幕張メッセ) 国際道工具EXPO(幕張メッセ) 東京インターナショナルギフト ショー	見本市への出展補助件数 3件	見本市への出展補助 1件 DIYショー(幕張メッセ) 0回 ※コロナ禍で中止 国際道工具EXPO(幕張メッセ)1回 11社 東京インターナショナルギフトショー 0回 ※コロナ禍で中止 補助金総額 3,740千円見込み	実施主体:三木金物商工協同組合連合 会、事業所
			金物展示館 利用者 11,803人	金物展示館 利用者数 12,000人	金物展示館 利用者数 7,980人 R2.12月末 補助金額 2,500千円	道の駅みきの金物展示館で三木金物の 展示販売 運営主体:全三木金物卸商協同組合
			金物大学(金物まつりと同時)開催 1回	金物大学開催回数 1回	金物大学(金物まつりと同時)開催 0回 ※コロナ禍で中止	
			三木金物ニューハードウェア賞 認定9点	三木金物ニューハードウェア賞認定点 数 10点	三木金物ニューハードウェア賞 認定 8点(7社) 別途努力賞2点(2社) 助成金総額 760千円 パンフレット配布数 2,819事業所(全国の金 物小売店等) 応募者数 11点(7社)	助成金(賞金) グランプリ 300千円 金賞 200千円 デザイン特別賞 100千円 ニューハードウェア賞 50千円 努力賞 30千円
			金物驚展示 2回 金物まつり他	金物驚展示回数 2回	金物驚展示 0回 ※コロナ禍で中止	実施主体:三木金物商工協同組合連合 会
ウ	観光資源活用事業	市内観光資源の魅力を訴求するため、観光 協会、商工会議所、商工会等との連携を強化 しながら、道の駅、ホースランド、山田錦の館・ 温泉交流館よかたん、金物資料館等の観光 資源を活用して、多様な媒体(メディア)による PR等の情報発信を強化します。	道の駅 利用者 365,449人	道の駅 利用者数 373,000人	道の駅みき 利用者 228,397人 R2.12月末	運営主体:みきやま(株)
			ホースランドパーク 利用者 189,460人	ホースランドパーク 利用者数 193,000人	ホースランドパーク 利用者 28,350人 R2.12 月末 ※コロナ禍で利用者減少	運営主体:(公財)三木山人と馬とのふれ あい協会
			山田錦の館 利用者数 436,627人	山田錦の館 利用者数 445,000人	山田錦の館 利用者数 317,403人 R2.12月末	運営主体:(株)吉川まちづくり公社
			温泉交流館よかたん 利用者 213,051人	温泉交流館よかたん 利用者数 217,000人	温泉交流館よかたん 利用者 90,668人 R2.12 月末 ※コロナ禍で利用者減少	運営主体:(株)吉川まちづくり公社
			金物資料館 利用者 5,361人	金物資料館 利用者数 5,500人	金物資料館 利用者 1,608人 R2.12月末 ※コロナ禍で利用者減少	
			外国語版観光パンフレット 2,000部	外国語版観光パンフレット部数 2,000部	外国語版観光パンフレット 0部 発行なし 三木おりおり	H30年度 三木おりおり 5,100部(仏語) R1年度 三木おりおり 1,000部(英語)
(7) 雇用の安定及び人材を育成するための施策						
	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備 考
ア	人材育成支援事業	人手不足の状況下で、経営者、従業員が中 小企業大学校やポリテクセンターの研修等を 活用して、生産性の向上をめざす人材育成を 行う中小企業を支援します。	中小企業人材育成事業 補助金 3件	中小企業人材育成事業 補助件数 6件	中小企業人材育成事業 R3.1月末 補助金 3件 ポリテクセンター3 補助金総額 25千円	

	イ	技術継承支援事業	長年培われた三木金物の伝統技術を保存継承するために、後継者育成、技術継承セミナーの開催、古式鍛錬技術の保存等の技術の継承を支援するとともに、市内小学校で三木金物を活用したふれあい体験事業を行います。	三木金物後継者育成事業 親方弟子育成補助金 0件	三木金物後継者育成事業 親方弟子育成 補助件数 1件	三木金物後継者育成事業 親方弟子育成補助金 0件	雇用型であるため、利用数が低い。 令和4年度～予定 事業承継と技術継承の両方を同時に行う制度にできないか検討中
				三木金物後継者育成事業 技術継承セミナー 64回	三木金物後継者育成事業 技術継承セミナー回数 64回	三木金物後継者育成事業 技術継承セミナー 80回 延べ208人見込み 毎月第1・3土曜日 鋸目立て 20回 延べ20名 包丁研ぎ 20回 延べ84名 鋸製造 20回 延べ20名 銘切り 20回 延べ84名 補助金額 864千円	実施主体:三木工業協同組合
				金物古式鍛錬技術保存事業 古式鍛錬 12回	金物古式鍛錬技術保存事業 古式鍛錬回数 12回	金物古式鍛錬技術保存事業 古式鍛錬 10回(古式鍛錬公開実演) 毎月第1日曜日(原則) ※コロナ禍で4月・5月中止 補助金額 900千円	実施主体:三木金物古式鍛錬技術保存会
				三木金物ふれあい体験事業 市内小学校 16回	三木金物ふれあい体験事業 市内小学校 16回	三木金物ふれあい体験事業 市内小学校 4回 参加児童数 173人 参加保護者数 0人 ※コロナ禍で開催中止の小学校あり ※保護者不参加	
	ウ	雇用安定事業	雇用の安定を図るため、ふるさとハローワークを設置し、求職者への職業相談、職業紹介、求人情報の提供により、雇用のマッチングを促進するとともに、三木商工会議所、公共職業安定所(ハローワーク)等と連携して、求人求職面接会の開催を行います。また、若年者の雇用や奨学金返済支援に積極的な中小企業を支援します。	三木市ふるさとハローワーク 職業紹介成功率(採用/紹介) 22.4%	三木市ふるさとハローワーク 職業紹介成功率(採用/紹介) 23.0%	三木市ふるさとハローワーク R2.12月末 職業紹介成功率(採用/紹介) 22.1%	実施主体:ハローワーク西神・三木市
				求人求職面接会開催 2回	求人求職面接会開催回数 2回	求人求職面接会開催 2回 9月 パーチャル合同就職面接会 事業所数 12社 参加人数 126人 2月 合同就職面接会(会場開催) 事業所数 25社 参加人数 51人 ※新型コロナ対策を講じて開催	実施主体:三木商工会議所・ハローワーク西神・三木市・三木地域雇用開発協会
				若年者雇用促進助成 15人	若年者雇用促進 助成人数 15人	若年者雇用促進助成 R3.1月末 助成人数 15人(10事業所) 見込み 助成金総額 1,500千円見込み	
				中小企業奨学金返済支援制度事業 補助人数 0人	中小企業奨学金返済支援制度事業 補助人数 1人	中小企業奨学金返済支援制度事業 R3.1月末 補助人数 1人(1社)見込み 補助金額 60千円見込み	利用が少ないため、R3年度以降、事業を継続するかどうか検討中